| 学校番号 | ４０５ |
|---|---|

# 令和２年度　美術科

| 教科 | 美術 | 科目 | 絵画 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校生の美術３」（日本文京出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 油彩、アクリル絵の具セット等の教材 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画Ⅱでは、絵画Ⅰで学んだことを活かし、自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成し、創造的で心豊かな表現を目指します。

## ２　学習の到達目標

・独創的な主題を生成し、表現の構想を練ること
・主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的な表現を追求すること

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:美術への関心・意欲・態度 | b:発想や構想の能力 | c:創造的な技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 | 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 | 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 | 美術作品などの表現方法の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 制作態度<br>ワークシート<br>鑑賞活動 | ワークシート<br>アイデアスケッチ<br>制作途中の作品<br>作品 | 制作途中の作品<br>作品 | ワークシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 素描 | ガイダンス<br>・鉛筆デッサン演習<br>鉛筆の削り方、デッサン基礎(タッチ、濃淡)<br>静物デッサン | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | | a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。<br>b:対象をよく観察し、形体の特徴をつかみ構成を工夫する<br>c:鉛筆の特性を理解し、タッチや線の重ね方を工夫し対象を表現している | 学習活動の様子<br>制作の様子<br>作品 |
| | 絵画「自己の表現1」 | ・アクリル絵具による抽象画<br>「生まれてから現在までの自分を、抽象画を含めた絵画で表現する」 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:自己について考えイメージし抽象表現を混じえて描く。<br>b:抽象的要素、個性的な表現を生かし、創造的に構想を練っている<br>c:主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表現している<br>d:作者の意図や表現の工夫を感じ取り作品のよさの積極的理解に努めている。 | ワークシート<br>制作態度<br>制作途中の作品<br>作品<br>鑑賞ワークシート |
| 2学期 | 展覧会鑑賞 | ・高校展鑑賞<br>鑑賞レポート提出 | ○ | | | ○ | a:高校生の作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。<br>d: 作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす | 鑑賞ワークシート |
| | 絵画「自己の表現2」 | ・混合技法を使った描画<br>「生まれてから現在までの自分を、抽象画を含めた絵画で表現する」<br>油彩・アクリル・ｺﾗｰｼﾞｭ<br>CG など<br>キャンバス製作<br>アートスタジアムにて展示<br>合評 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:自己について考えイメージし抽象表現を混じえて描く。<br>b:抽象的要素、個性的な表現を生かし、創造的に構想を練っている<br>c:主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表現している<br>d:作者の意図や表現の工夫を感じ取り作品のよさの積極的理解に努めている。 | 制作態度<br>制作途中の作品<br>作品<br>鑑賞ワークシート |
| | 展覧会鑑賞 | 【鑑賞】<br>・アートスタジアム展示<br>鑑賞レポート提出 | ○ | | | ○ | a:自校の生徒作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。<br>d: 作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす | 鑑賞ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 卒業制作 | ・自由課題研究<br>「卒業制作」<br>各自テーマを決めて描画表現または造形表現する。<br>合評 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:高校美術の集大成として、主体的に主題を生成して構想を練り表現を工夫しようとしている<br>b:３年間で学んだ中で自己の得意分野を生かし、創造的に構想を練っている。<br>c:主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表現している<br>d:お互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさを認め合っている | 制作態度<br>制作途中の作品<br>作品<br>鑑賞ワークシート |

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。